

2017年10月15日～18日 パシフィコ横浜

WCLC 2017(18th World Conference on Lung Cancer)

<http://wclc2017.iaslc.org/>

2017年10月16日(月) 9:30-16:00

P1.03-044 - Exploratory Analysis of Lung Cancer Patients in a Phase Ib/II Trial of NC-6004 (Nanoparticle Cisplatin) plus Gemcitabine (ID 10174)

Lyudmila Bazhenova, R.H. Tran, J.E. Grilley-Olson, N. Sharma, A. Combest, I. Bobe, A. Osada, K. Takahashi, J. Balkissoon, A. Camp, A. Masada, D.J. Reitsma, V. Subbiah

既存治療に抵抗性の固形がん患者が米国4施設で登録された。NC-6004の投与スケジュールは、3週間に1回投与(60~180 mg/m²) およびゲムシタビンは3週間に2回投与(1250 mg/m², 1日目および8日目) で実施された。

- 登録された肺がん患者は11例(男性6例、女性5例)
 - 非扁平非小細胞肺がん(NSCLC) : 8例(72%)
 - 扁平非小細胞肺がん、小細胞肺がんおよび大細胞神経内分泌組織型 : 各1例(9%)
- 患者は平均して1.7種類の既存治療を受けており、82%の患者がプラチナ投与経験者であった。
- NC-6004 とゲムシタビンとの併用療法について問題となる副作用は観察されず、何れも管理可能であった。
- MTDと推定されたNC-6004 135 mg/m²の投与を受けた肺がん患者4例において、平均投与サイクルは6サイクルであった。
- 有効性評価が可能な10例のうち、部分奏効(PR)は20%、病勢安定(SD)は70%で認められた。腫瘍の縮小は6例(60%)で認められた。

NC-6004は臨床的に重要な神経毒性、聴覚毒性または腎毒性の副作用を軽減し、長期間の治療を可能にした。過去にプラチナ製剤での治療経験があり、副作用による治療継続困難や有効性が得られず治療中止となった肺がん患者でも有効性が認められた。以上の結果から、NC-6004とゲムシタビンの併用療法は、本試験の肺がん患者において有望な活性および忍容性を示したことから、今後さらなる検討を進める。

以上